



平成 29 年 4 月 13 日

各 位

会 社 名 株式会社エッチ・ケー・エス
代表者名 代表取締役社長 水口 大輔
(JASDAQ・コード 7219)
問合せ先 取締役財務部長 高根澤 進
電 話 0544-29-1111

平成 29 年 8 月 期 第 2 四 半 期 累 計 期 間 業 績 予 想 数 値 と 実 績 数 値 と の 差 異 に 関 す る お 知 ら せ

当社は、平成28年10月14日に公表いたしました平成29年8月期第2四半期累計期間の数値と、本日公表の実績数値との差異につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

業績予想との差異について

平成 29 年 8 月 期 第 2 四 半 期 累 計 連 結 業 績 予 想 数 値 と 実 績 値 と の 差 異 (平 成 28 年 9 月 1 日 ~ 平 成 29 年 2 月 28 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する四 半期純利益	1株当たり 四半期純利 益
前回発表予想(A)	百万円 3,160	百万円 0	百万円 0	百万円 0	円 銭 0.00
今回実績(B)	3,366	27	70	84	23.43
増減額(B-A)	206	27	70	84	
増 減 率 (%)	6.5	-	-	-	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成 28 年 8 月 期 第 2 四 半 期)	3,496	177	172	207	55.95

差異の理由

連結売上高につきましては、国内アフターパーツの売上高はほぼ前回予想どおりでしたが、海外アフターパーツの売上高が欧州を中心に前回予想を上回りました。また、アフターパーツ以外では受託開発業務において下半期の売上高を前倒しで計上できたこともあり、前回予想を上回りました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,366百万円(前回予想比206百万円の増加)となりました。

損益面につきましては、販売費及び管理費は前回予想を上回りましたが、売上高の増加により売上総利益が増加したことにより、営業利益は27百万円(前回予想比27百万円の増加)となり、為替差益21百万円の計上等により経常利益は70百万円(前回予想比70百万円の増加)となりました。また、受取補償金等の特別利益への計上、および当社代表取締役社長であった長谷川浩之の逝去による役員退職慰労金および社葬に関する費用等の特別損失への計上により、親会社株主に帰属する四半期純利益は84百万円(前回予想比84百万円の増加)となりました。

なお、通期の業績予想につきましては、当第2四半期累計期間に下半期の売上高の前倒し等を考慮しているため、当初予想からの変更はありません。

以 上